



昭和八年二月二十五日印刷
 昭和八年三月一日發行
 昭和十一年十月十五日增訂再版

柑橘の研究
著作權所有
正價金四圓也

著 作 者 田 中 長 三 郎

東京市本郷區森川町七〇番地

發 行 者 株 式 會 社 養 賢 堂

社 長 及 川 伍 三 治

東京市神田區錦町三丁目十一番地

印 刷 者 白 井 赫 太 郎

東京市神田區錦町三丁目十一番地

印 刷 所 精 興 社

東京市本郷區森川町七十番地

發 行 所 (振替口座東京二五七〇〇) 株式會社
 (電話小石川六五九番)

養賢堂





增訂再版

農林省園藝試驗場技手
高橋郁郎君著

柑 橘

菊判布裝全一冊・四百卅頁
挿圖十七枚・圖二百二十版
正價三圓八拾錢送料卅三錢

既往數年間に於ける柑橘栽培は非常なる發展を來たしたので、著者は其趨勢に應ずる目的のもとに先年刊行の本書の前版を徹底的に書直した。其の取材の主體は多年國立園藝試驗場に於ける體驗と最進歩せる學理とに依る研究業績であつて、此點から「如何にせば本邦の柑橘業を世界的産業に發展せしむるか」の道を確立した。而も栽培の技術に、或は經營・販賣上の懸案に、既往の推論を排して飽くまで精確なる調査數字に基づいて其の收益増進を圖つた點は從來の園藝書に見る能はざる異彩で、斯道の技術家・當業者並に園藝研究家の必備寶典である。

主要目次

I 緒言 II 主要主種の栽培歴史
III 世界の柑橘業 IV 日本の柑橘業の趨勢—各種類別主産地産額—産地の變遷—主要産地の概況—輸移出と輸移入—臺灣の柑橘業 V 柑橘の分類
VI 代表的種類と其の主要栽培品種(五十九種)—枳殼金柑の種類及其雜種(九種) VII 種柑橘の生態 VIII 柑橘審査法 IX 柑橘の風土 X 繁殖—砧木の種類と其特性—接着部の状態と穂と砧との親和性—砧木の養成—接穂の採集—接木—嫁接後に於ける苗圃の管理—育苗の改善と苗の價格と育苗事業 XI 開園と栽植—開墾と整地—苗木の選擇—栽植 XII 肥料—柑橘中の肥料成分—各要素の柑橘に及ぼす作用—要素に關する試験成績—有機質肥料—施肥量と各要素の比率—石灰の

用量—肥料の種類及び其配合に依る效果の相違—施肥の時期と其回数及び施用方法 XIII 土壤の改良と地方の増進 XIV 剪定—剪定の目的—剪定の程度と樹の大きさ—幼樹の剪定—切返剪定と間引剪定—更新剪定—寒害を受けたる樹の剪定—剪定の時期—剪定樹の保護—剪定上の其他の注意—垣作整枝法 XV 隔年結果の防止と結果の制限 XVI 接換及び根の寄接 XVII 柑橘樹の寒害と防寒法 XVIII 採收選別及製造 XIX 貯藏 XX 新種の育成と品種の改良 XXI 害蟲 XXIII 病害病蟲害防除劑、瓦斯燻蒸及天敵作用 XXIV 柑橘園の經營と經濟—收量—支出及び勞力—收支—經營反別—栽培種類の統一及び間作—栽培種類の選擇—生産費の低減 XXV 柑橘の價格と其販賣
○引用文献

發行所

東京麴町元園町一の七 (電話九段)
振替東京二五七〇〇番 (六三九番)

養賢堂



田中柑橋試験場編輯

年2回發行
每卷300頁

柑 橋 研 究

第7卷第2號
既 刊

STUDIA CITROLOGICA

本誌は田中教授の主宰する世界的柑橋専門雑誌にして伯林大學教授エングレー博士の後繼者ハームス博士の批評する所は此種雑誌中最重要のものにして常に日本柑橋研究家の最重要論文を網羅するのみならず、世界の主要著述の紹介を完備すと云へり。即ち本誌を通覽する事によりて柑橋に關する學術、技術、經濟各方面の事情に精通し得るのみならず、又自家栽培販賣取引改良上に多大の利益を齎す所ある可し。夙に米國農務省の如きは本誌を全譯し斯業獎勵に利用し、既に一部の出版計畫あり、ソヴィエツト政府の如きも専門家をして本誌を研究せしめ自國柑橋業の改良資料となし、鴻漸なる文書を出版せる等、皆以て本誌が柑橋産業上に偉大なる貢獻をなしつつあるを證すものなり。

本誌は當初より斯業の指導開發は唯權威ある眞面目なる論著によりしのみ導かれ得るものなる確信を以て記事を嚴撰し、些も俗説又は幼稚なる記事を容れず、爲に不勉強なる一二の讀者は之を難解なりとなせるものあるも、當業者の熱心なる有志は本誌の價値を信頼し、日夜之を座右に置きて無二の參考書となせり、即今も猶初號よりの購讀を希望する士少なからず、既刊各號を製本保存し尠大なる柑橋教科書となせる者多し。今や讀者は本邦柑橋産地の全圖に互り、臺灣、中華民國には勿論、遠くは亞爾然丁にまで及べり。

本誌讀者は柑橋研究会に加盟すれば一ヶ年(一卷分)會費購讀料 1.50 圓を前納して本誌を出版毎に受取る事を得。右研究会は福岡縣浮羽郡水繩村田中柑橋試験場及臺北市臺北帝國大學園藝學教室内に事務所を設け、新入會員は何人の紹介はなくとも之を受付くる事となせり、既刊雑誌は會員に限り5卷第2號までの購讀料として 8.50 圓郵税 .40 圓を前納して之を購讀し得。

社 團 田 中 柑 橋 試 驗 場
法 人


福岡縣浮羽郡水繩村石垣(九大線田主丸驛より東山手八丁)

場長 田 中 長 三 郎 場主 林 田 隆 壽

電話 田主丸 30 振替福岡 22720 試作 3町5反

試驗事項 柑橋種類の研究特に其の經濟的價値の發見

見習生養成・苗木分讓・質疑應答・參觀隨意



田中柑橘試験場發行歐文出版物

MEMOIRS OF TANAKA CITRUS EXPERIMENT STATION

(田中柑橘試験場歐文報告)

第1卷 第1號 1928年 刊 定價 1.50 ¥ 郵稅 8sen

第1卷 第2號 1932年 刊 定價 1.50 ¥ 郵稅 8sen

本誌は柑橘に関する歐文論説を掲載せるものにして第1號は『太平洋地方に於ける柑橘の栽培』と題し『太平洋地方に於ける柑橘栽培の植物生態學的及地理學的見解』、『太平洋地方柑橘の分類』、『太平洋地方最重柑橘類の果物學的論評』、及『太平洋柑橘種類の遺傳學的考察』の四論文を掲ぐ。第2號は『日本に於ける柑橘の繁殖』、『支那柑橘誌上に於ける諸發見』、『新種シトラス・ウィルソニイ』、『芸香科柑橘亞科改訂第一報』、『印度支那柑橘亞科考説』、及び『印度産芸香科柑橘亞科考説』の六論文を掲ぐ。本誌購讀は柑橘研究同業柑橘研究會宛前金にて申込み度し。

英文温州蜜柑譜

A MONOGRAPH OF THE SATSUMA ORANGE

With special Reference to the Occurrence of
New Varieties Through Bud Variation

田中長三郎著

650頁・圖版 52 の大著にして臺北帝國大學理農學部紀要、第4卷(定價 8圓)より著者縮冊自刊せるもの、柑橘研究會員に限り實費共 1冊 4.47 ¥、2冊 8.60 ¥、3冊 12.79 ¥にて分讓す。本著は温州蜜柑の史的・分類學的・果物學的・個性並に撰擇問題・早生温州及其の變異論・芽條變異に起因する早生各品種の發現(第一期、第二期、第三期)・結論・文獻等の各章あり、温州蜜柑の研究者に缺く可からざる參考書なり。

申込所

福岡縣浮羽郡水繩村石垣
振替福岡二二七二〇番

田中柑橘試験場